

踏み跡 <My Mountains>

奥秩父	日原から雲取山	No.175
-----	---------	--------

昭和48年1月21日
 吉祥寺から中央線に乗り、立川に着いたのは6時頃。隙間風だらけの寒い電車で1時間20分、奥多摩へ。奥多摩着は7時20分。すぐに日原行のバスに乗り、東日原に8時に到着。日原川を遡って林道歩き。冬の谷間は寒く冷たい。背中から日が当たる瞬間がうれしい。長沢谷出合いの小屋で小休止をとり、先の積雪に備えてスパッツを着用。大雲取谷を左手に見ながらゆっくりゆっくり登っていく。



途中で30分の昼食休みをとり大ダワに14時10分に到着。ここは県境稜線、登ってきた大雲取谷は東京都、目の前の大洞川の谷間は埼玉県、登りつめたという感じがする稜線である。南へ小ピークを越えると鞍部に雲取山荘。時計を見ると14時30分、バスを降りて歩き始めてから6時間半。30分の小休止の後、雲取山頂上へ20分。冬の雲取山、しかも15時20分ともなるともう静かなもので誰もいない。静寂さと夕方の冷気が迫り始めるのを感じながら、ひとわり景色を楽しみ下山に入る。15時30分山頂を出発。下山路は通り詰めて慣れた鴨沢への道、時計を見ながら速度調整をしつつ歩いた。鴨沢18時着、もう寒さに取り囲まれたような鴨沢。鴨沢発のバスは行ってしまった後だったので、寒さに負けぬように早足で歩いて留浦から乗った。車窓から見える奥多摩湖はもう闇色になっていた。

以上